

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-109100

(P2000-109100A)

(43)公開日 平成12年4月18日 (2000.4.18)

(51)Int.Cl.
B 65 D 33/10
// A 45 C 13/26

識別記号

F I
B 65 D 33/10
A 45 C 13/26

テーマ (参考)
3 E 0 6 4
H

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全6頁)

(21)出願番号 特願平10-289517

(22)出願日 平成10年10月12日 (1998.10.12)

(71)出願人 000115968

レック株式会社

東京都文京区小石川5丁目2番7号

(72)発明者 丸岡 浩幸

東京都文京区小石川五丁目2番7号 レック株式会社内

(74)代理人 100067046

弁理士 尾股 行雄 (外1名)

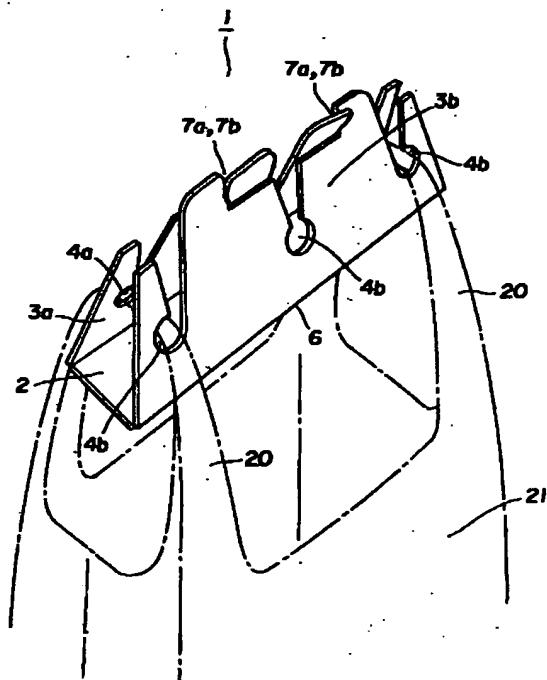
Fターム (参考) 3B064 AA11 BA01 EA30 HJ10

(54)【発明の名称】 提げ手

(57)【要約】

【課題】 安価で、使い捨て用に好適な提げ手を提供する。

【解決手段】 板紙1の中央に設けた2本の折曲げ部5a、5bを折り曲げるとともに、各側板3a、3bの頂辺部に設けた係止部7a、7bを相互に係着することにより三角筒状の提げ手が組み立てできる。この三角筒状体の各側板3a、3bには、切欠き穴4a、4bが相対向して対状に形成されている。使用時は、これら切欠き穴4a、4bや底面2のU字部分を利用して買物袋21等の手提げ20を懸架する。本提げ手は板紙製で構造的にも安価で、且つ組立も容易であるから、サービス用に買物先のレジ等に置いておく使い捨ての提げ手として好適である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 板紙(1)中央の折曲げ部(5a、5b)を折り曲げて組立られる三角筒状体であって、当該三角筒状体の各側板(3a、3b)に買物袋(21)等の手提げ(20)が懸架される切欠き穴(4a、4b)を相対向して対状に形成するとともに、頂辺部に当該側板(3a、3b)を相互に係着するための係止部(7a、7b)を設けて成る提げ手。

【請求項2】 前記折曲げ部(5a、5b)を各々外側に膨らみを持たせて梢円状に形成することにより、前記三角筒状体の底面(2)を内側に湾曲させて成る請求項1に記載の提げ手。

【請求項3】 前記折曲げ部(5a、5b)に沿って複数個の横長の穴(8a、8b)を一列に形成することにより、前記三角筒状体の握り角部(6)を波状にして成る請求項1または請求項2の何れかに記載の提げ手。

【請求項4】 各側板(3a、3b)に相対称する切欠き穴(4a・4a'、4b・4b')を形成し、その対称線(9a、9b)にて折り返すことにより、前記三角筒状体を2枚重ね構造として成る請求項1から請求項3の内の何れかに記載の提げ手。

【請求項5】 紙管(11)の径方向の一部を圧潰して長手方向に扁平部(13a、13b)を形成するとともに、当該扁平部(13a、13b)に買物袋(21)等の手提げ(20)が懸架される切欠き穴(14a、14b)を対状に設けて成る提げ手。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、手提げの付いた重い買物袋や手荷物等を持ち運ぶ時に使用する提げ手に関し、特に、使い捨て用として好適な提げ手に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 買い物をした時の重い買物袋等を吊り下げる長時間持ち歩くことは日常誰もが経験しているところである。特に、スーパー・マーケット等で使用されているポリ製の買物袋では、吊り下げ中に帯状の手提げが手のひらに食い込んできて、徐々に苦痛を感じてくる。このため、何度も持つ手を替えながら運ばなければならぬといった面倒が生じた。両手が塞がっている場合は尚更である。

【0003】 このようなことから、重い荷物等を苦痛なく提げられる専用の提げ手も用意されており、デパート等でしばしば使用されている木製の筒内に針金を通して両端をU字形にしたもの、あるいは、握り部と引掛け部が一体成形されたプラスチック製のもの等が従来品として知られている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、上記した提げ手は、家庭に持ち帰ると捨ててしまうことが多いが、

提げ手自体は構造的にしっかりしていて、且つ比較的高価なものであることから、使い捨てにするには些か不経済の感があった。また、捨てずにとておいて外出の際に携帯して繰り返し使用しても良いが、スーパー・マーケット等のポリ製の買物袋に使用するには外観上少々体裁が悪いため、敬遠されがちであった。

【0005】 本発明の目的は、このような不経済感に鑑みて成されたものであって、安価な使い捨て用の提げ手を提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 すなわち、請求項1に記載の提げ手は、板紙(1)中央の折曲げ部(5a、5b)を折り曲げて組立られる三角筒状体であって、各側板(3a、3b)に買物袋(21)等の手提げ(20)が懸架される切欠き穴(4a、4b)を相対向して対状に形成するとともに、頂辺部に当該側板(3a、3b)を相互に係着するための係止部(7a、7b)を設けて構成したものである。

【0007】 また、請求項2に記載の提げ手は、前記折曲げ部(5a、5b)を各々外側に膨らみを持たせて梢円状に形成することにより、前記三角筒状体の底面(2)を内側に湾曲させて構成したものである。

【0008】 また、請求項3に記載の提げ手は、前記折曲げ部(5a、5b)に沿って複数個の横長の穴(8a、8b)を一列に形成することにより、前記三角筒状体の握り角部(6)を波状にして構成したものである。

【0009】 また、請求項4に記載の提げ手は、各側板(3a、3b)に相対称する切欠き穴(4a・4a'、4b・4b')を形成し、その対称線(9a、9b)にて折り返すことにより、前記三角筒状体を2枚重ね構造としたものである。

【0010】 さらに、請求項5に記載の提げ手は、紙管(11)の径方向の一部を圧潰して長手方向に扁平部(3a、3b)を形成するとともに、当該扁平部(3a、3b)に買物袋(21)等の手提げ(20)が懸架される切欠き穴(14a、14b)を対状に設けて構成したものである。

【0011】

【発明の実施の形態】 以下、図1から図8により、本発明の実施形態を説明する。

【0012】 図1は、本発明の提げ手の第1実施形態を示す展開図である。

【0013】 本発明の提げ手は、平板状の板紙1を折り曲げて組立て上げる構造であって、材料は厚手のポール紙等が使用される。この板紙1の中央部に図中破線にて示した相平行する2本の折曲げ部5a、5bが設けてある。この折曲げ部5a、5bの裏側に切込みが入れてあり、使用者がこの切り込みを折り曲げて簡単に組立できるようになっている。また、これら折曲げ部5a、5bの外側であって、組立により構成される側板3a、3b

の3個所に買物袋21の手提20を懸架するための1対の切欠き穴4a、4bが形成されており、さらに、この側板3a、3bの頂辺部2個所に、両側板3a、3bを相互に係着するための一対の係止部7a、7bが形成されている。尚、上記複数の切欠き穴4a、4bおよび係止部7a、7bは、プレス抜き加工によって同時に一括形成されるものである。

【0014】上記板紙1を折曲げ部5a、5bに沿って折り曲げ(谷折り)、頂辺部2個所に設けた係止部7aと7bを相互に係着することにより、図2に示す三角筒状の提げ手が組立てできる。

【0015】この提げ手を使用する場合は、図2のように買物袋21の左右の手提20を左右の切欠き穴4a、4bに別々に引掛けても良いし、あるいは、手提20を中央の切欠き穴4a、4bにまとめて引掛けても良い。また、これら切欠き穴4a、4bを使用せずに底面2のU字部分に買物袋21の手提20を通す形にして使用することも可能である。この場合は、提げ手を組立てる前に予め買物袋21の手提20をU字部分に通しておくようにする。

【0016】本発明の提げ手は、使用材料がボール紙等の板紙であるから極めて安価であって、且つ、使用者が必要に応じて容易に組立てできる構造であるから、例えば、買物先のレジ等にサービス品として置いておく使い捨て用に好適である。

【0017】図3は、本発明の提げ手に係る第2実施形態を示す展開図である。

【0018】前記した第1実施形態では、板紙1の折曲げ部5aと5bを相平行して形成したが、本実施形態では、これら折曲げ部5a、5bを各々外側に向けて膨らみを持たせ、細長楕円状となるように形成した。折曲げ部5a、5bを細長楕円状にすることにより、組立て後、提げ手の底面2が三角筒状体の内側に湾曲して手に馴染み易い形状となるから、買物袋21を吊り下げた時の提げ手の握り感が改善され、重い買物袋21を持ち歩いても、手のひらへの負担はさほど感じない。また、各側板3a、3bの頂辺部の形状を中央部分を膨出させた蒲鉾形状とすることにより、提げ手を握った時手のひらに感じる違和感を和らげることができる。

【0019】尚、本実施形態においても、提げ手の組立てや買物袋21の懸架は前記第1実施形態と同様の要領で行えば良い。

【0020】図4は、本発明の提げ手に係る第3実施形態を示す展開図である。

【0021】本実施形態は上記第2実施形態と同じように握り感の改善を図ったものであって、図示のように2つの折曲げ部5a、5bに沿って細長楕円状の穴8a、8bを各々一列状態に4個づつ形成したものである。本形状の板紙1を組立てることにより、組上がった三角筒状体の握り角部(図2に示す符号6の部分)は波状を呈

し、これら波状の凹部分が提げ手を握った時の指当てとなって、手のひらの負担が和らげられる。

【0022】また、本実施形態では、各折曲げ部5a、5bは相平行して形成しているが、図3に示す上記第3実施形態と同様に各折曲げ部5a、5bをそれぞれ外側に膨らみを持たせて細長楕円状に形成し、底面2を内側に湾曲させる構造としても勿論構わない。これにより、提げ手の握り感はより一層改善される。

【0023】図5は、本発明の提げ手に係る第4実施形態を示す展開図である。

【0024】本実施形態は、各側板3a、3bに前記切欠き穴4a、4bと対称的に向き合うもう一つの切欠き穴4a'、4b'を形成し、その対称線9a、9bにて折り返し、図6に示すように両者を重ね合わせた後、他の実施形態と同様に折曲げ部5a、5bにて折り曲げて組み立てることにより、2枚重ねの提げ手が作製できる。この時、各側板3a、3bの頂部に切り込みを入れた余白部2a、2bを設けておいて、組立時にこれら余白部2a、2bが底面2に両側から重ね合わさるようにする。

【0025】このように本実施形態は、買物袋21の重圧が掛かる提げ手の切欠き穴4a、4bや底面2のU字部分を2枚重ねにすることにより、既述した1枚構成の提げ手に比べてより十分な強度を確保できるようしている。従って、本提げ手は、重い荷物を吊り下げて長時間持ち運ぶ場合等には極めて有効である。

【0026】次に、図7および図8に基づいて本発明の提げ手に係る第5実施形態を説明する。

【0027】既述した第1～第4実施形態が厚手の板紙を使用しているのに対し、本実施形態は既製の紙管を利用したものである。通常、紙管は薄い紙を幾重にも積層して形成された円筒体であるから強度的に優れており、よって、提げ手の材料に好適である。

【0028】本実施形態の提げ手は、以下の手順にて作製されるものである。

【0029】先ず、所定の紙管11を用意し、その径方向の一部を紙管11の長手方向に沿って圧潰する。この際、図7に示すように、円筒体の底部12を少々潰すようにしてやや平坦状に変形させておくと良い。

【0030】次に、図8に示すように圧潰加工により形成された扁平部13a、13b(前記側板3a、3bに相当)にプレス抜き加工を施して所望の切欠き穴14a、14bを複数個(3個)対状に形成する。この場合も、扁平部13a、13bの頂辺は中央部を高くして蒲鉾形状にしておくと好適である。

【0031】本実施形態のように、円筒部に扁平部13a、13bを設けることによって通常のプレス抜き加工が行えるようになるため、加工性に劣る紙管11を使用しても提げ手は容易に、且つ安価に作製できる。また、

50 前記圧潰加工により両扁平部13a、13bは一体的状

態を維持・維続するから、既述の実施形態のような両側板3a、3bを相互に係着するための特別な掛止機構を設ける必要はない。しかも、紙管を使用すれば、何ら加工を施さなくとも握り角部16は指に馴染み易い丸形状となっているから、買物袋21を吊り下げた時の提げ手の握り感は良く、手のひらへの負担は少ない。

【0032】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1に記載の提げ手は、板紙中央の折曲げ部を折り曲げ組立てられる三角筒状体であって、各側板に買物袋等の手提げが懸架される切欠き穴を対向して対状に形成するとともに、頂辺部に当該側板を相互に係着するための係止部を設けて構成したので、従来の木製やプラスチック製の提げ手に比べて価格的に安価に作製でき、しかも、本提げ手は、平板状に展開した状態で何枚も重ねて保管しておいて、必要に応じて取り出し、簡単に組立てできるものであるから、使い捨て用の提げ手として実用価値は極めて高いものである。

【0033】また、請求項2に記載の提げ手は、前記折曲げ部を各々外側に膨らみを持たせて梢円状に形成し、前記三角筒状体の底面を内側に湾曲させたので、買物袋等を吊り下げた時手に馴染んで手のひらの負担が和らげられるから、長時間の持ち運びも楽に行える。

【0034】また、請求項3に記載の提げ手は、前記折曲げ部に沿って複数個の横長の穴を一列に形成し、前記三角筒状体の握り角部を波状にしたので、これら波状の四部分が提げ手を握った時の指当てとなり、手のひらの負担が和らげられる。

【0035】また、請求項4に記載の本発明によれば、各側板に相対称する切欠き穴を形成し、その対称線にて折り返すことにより、前記三角筒状体を2枚重ね構造としたので、重い買物袋等を吊り下げて持ち歩いても十分な強度が確保でき、提げ手が長持ちするから経済的である。

【0036】さらに、請求項5に記載の提げ手は、紙管の径方向の一部を圧潰して長手方向に扁平部を形成するとともに、当該扁平部に買物袋等の手提げが懸架される切欠き穴を設けて構成したので、上記板紙を使用した場合のような係止機構は不要となり、その分、プレス抜き加工を簡略化することができる。

【0037】また、材料に紙管を使用することにより、特別な加工を加えなくとも握り角部は丸形状であるから買物袋等を吊り下げた時の提げ手の握り感は良く、手のひらへの負担は少ない。さらに、このような紙管は薄い紙を幾重にも積層して形成されており強度的に優れているものであるから、提げ手は長持ちする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る提げ手の第1実施形態を示す展開図である。

10 【図2】本発明に係る提げ手の使用態様を示す図である。

【図3】本発明に係る提げ手の第2実施形態を示す展開図である。

【図4】本発明に係る提げ手の第3実施形態を示す展開図である。

【図5】本発明に係る提げ手の第4実施形態を示す展開図である。

【図6】同、第4実施形態であって、展開状態の提げ手を対称線で折り返し、2枚重ねとした状態を示す図である。

【図7】紙管を圧潰加工した状態を示す正断面図である。

【図8】本発明に係る提げ手の第5実施形態を示す図で、(a)は正面図、(b)は側面図である。

【符号の説明】

1 板紙

2 底面

3a、3b 側板

4a、4b、4a'、4b' 切欠き穴

30 5a、5b 折曲げ部

6 握り角部

7a、7b 係止部

8a、8b 横長の穴

9a、9b 対称線

11 紙管

12 底部

13a、13b 扁平部

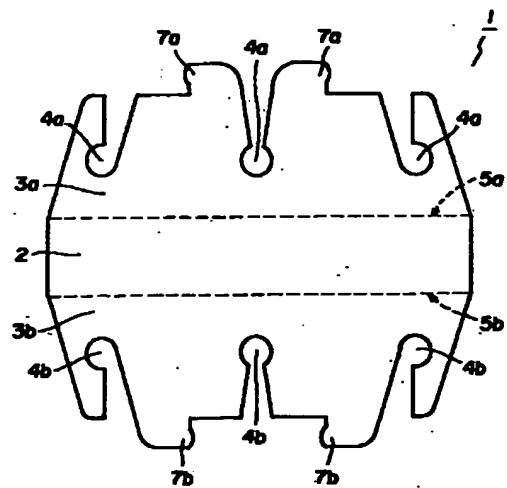
14a、14b 切欠き穴

20 買い物袋の手提げ

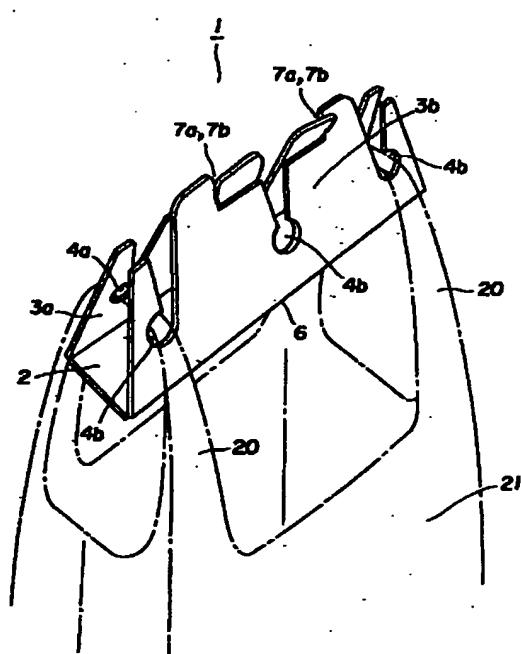
40 21 買い物袋

paper
brand

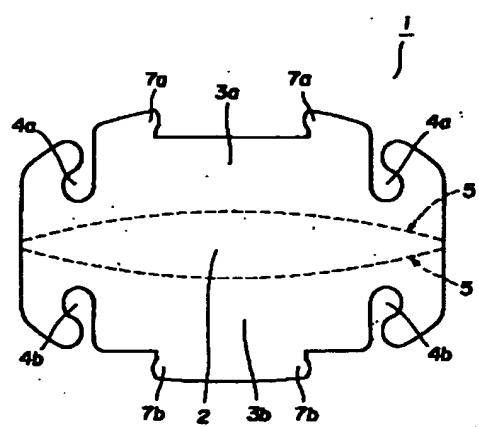
【図1】



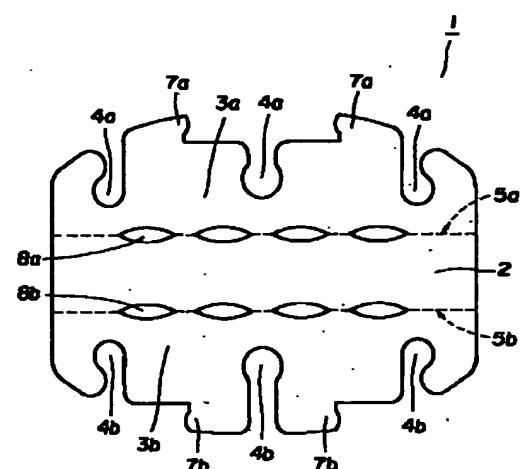
【図2】



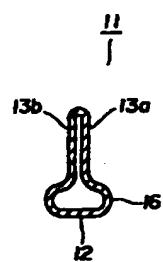
【図3】



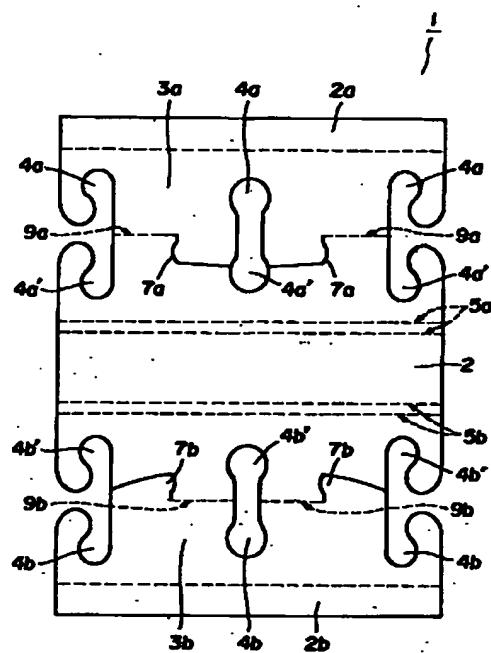
【図4】



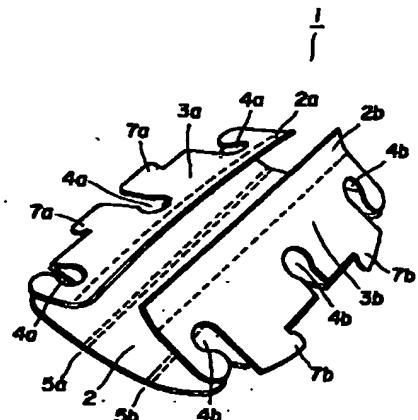
【図7】



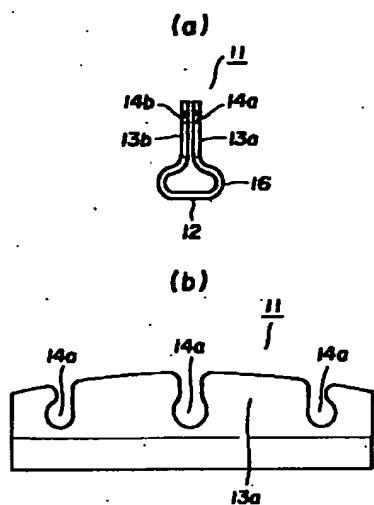
【図5】



【図6】



【図8】



DERWENT-ACC-NO: 2000-344651

DERWENT-WEEK: 200030

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: **Disposable handle for carrying e.g. heavy carrier bag, luggage**

PATENT-ASSIGNEE: REKKU KK[REKKN]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0289517 (October 12, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2000109100 A	April 18, 2000	N/A	006	B65D 033/10

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2000109100A	N/A	1998JP-0289517	October 12, 1998

INT-CL (IPC): A45C013/26, B65D033/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000109100A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Notches (4a,4b), formed on the triangular side plates (3a,3b) of the handle hard board (1), engage the hand holds (20) of a shopping bag (20). The side plates are joined together through the clamping pieces (7a,7b). The side plates are joined to the bend lines formed at the center of the hard board.

USE - For carrying e.g. heavy carrier bag, luggage.

ADVANTAGE - Handle can be produced at low cost since handle hard board need not be made from plastics or wood. Simplifies attaching or removing of handle to or from shopping bag hand holds. Reduces tiredness to user's hand gripping shopping bag using handle. Enables shopping bag to be easily carried for long period of time. Ensures enough strength for handle, enabling it to carry even heavier bags. Eliminates use of clamping mechanism when punching handle.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the isometric view of the use state of a handle.

Hard board 1

Side plates 3a,3b

Notches 4a,4b

Clamping pieces 7a,7b

Hand holds 20

Shopping bag 20

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/8

TITLE-TERMS: DISPOSABLE HANDLE CARRY HEAVY CARRY BAG LUGGAGE

DERWENT-CLASS: P24 Q32

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-259220